

令和8年の県内の高圧ガス災害事故発生状況(速報)

災害事故件数: **3件** (うち千葉市管内**1件**) (令和8年1月末現在)

日付 発生場所 区分(規則)	事故の現象 人的被害状況	設備名 (ガス種)	事故原因	事故概要	規模
1/9 多古町 製造事業所 (一般則)	噴出・漏えい なし	弁 (アンモニア)	シール管 理不良	保安係員が日常点検中にアンモニア臭気を覚知し、貯槽供給バルブのグランド部から微量のアンモニアガスが漏えいしていることを確認した。バルブのグランドナットを増し締めしたところ、同バルブのボンネット押え部から漏えいが併発。漏えいを完全に止めるため他貯槽との合流バルブを閉止し、配管内の圧抜きを実施し、漏えいが停止したことを確認した。 グランド部については、パッキンの摩耗劣化や環境温度変化でシールに必要な面圧が低下し、アンモニア液が漏えいしたと推測される。ボンネット押え部については、応力緩和、漏えい時のバルブ温度低下および増し締め時のバルブ内圧力の上昇といった複合的な要因により、シールに必要な面圧が低下し、アンモニア液が漏えいしたと推測される。	B2
1/25 市原市 製造事業所 (コンビ則)	噴出・漏えい なし	配管 (水素)	調査中	巡回点検中に圧力計取り出し部より水素の微量漏洩を発見し、直ちに関係者や消防に連絡した。速やかに装置の停止操作に入り、原料停止及び窒素置換操作を行った結果、漏洩停止を確認した。 割れの原因については、繰り返し荷重による疲労割れと推定する。	C2
1/13 千葉市 製造事業所 (一般則)	噴出・漏えい なし	配管、継手、弁 (酸素)	施工管理 不良	保冷材に覆われているCE送液弁に霜が付着しており、グランド部より漏れの疑いがあったため、送液弁を閉止し、増し締めを実施した。その後の気密検査にて3箇所のコウ付け部分で漏洩を確認した。 施工管理不良による漏えいと推定される。	C2

【事故規模】全3件中・・・(A1級)0件、(A2級)0件、(B1級)0件、(B2級) 1件、(C1級)0件、(C2級) 2件

※1 B1級事故は、B級事故からB2級事故を除いたもの。B2級事故は、同一事業所において、A級事故、B級事故又はC1級事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC1級事故(高圧ガスに係る事故に限る。)

※2 C1級事故は、C級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C2級事故は、C級事故からC1級事故を除いたもの